

資料編



1. 仁木町次世代育成支援対策地域協議会設置要綱

(設置及び目的)

第1条 児童福祉増進のため、次世代育成支援対策推進法(平成15年法律第120号)第8条第1項に基づく仁木町次世代育成支援行動計画(以下「行動計画」という。)の策定にあたり、次世代育成支援対策の推進に関し必要となるべき措置について協議するため、仁木町次世代育成支援対策地域協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

(組織)

第2条 協議会は、委員10名以内をもって組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

- (1) 仁木町地域福祉計画策定委員関係者
- (2) 仁木町民生委員児童委員関係者
- (3) 学校教育関係者
- (4) 保護者

(任期)

第3条 委員は、行動計画の策定をもって解任される。

2 補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 協議会に委員長及び副委員長1名を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は協議会を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会は、必要に応じて委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 協議会は、必要に応じて委員以外の関係者の出席を求めることができる。

(事務局)

第6条 協議会の事務を処理するため、保健福祉課内に事務局を置く。

(関係機関との連携)

第7条 行動計画の策定にあたっては、関係者との連携を図る。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附則(平成15年12月22日告示第103号)

この要綱は、公布の日から施行する。

2 . 仁木町次世代育成支援対策地域協議会委員名簿

(平成16年1月22日 委

嘱)

役職名	氏 名	区 分	備 考
委 員 長	栗田 一	仁木町地域福祉計画策定委員長 児童福祉部会委員長	学識経験者
副委員長	萩原 宏	学校教育関係者	仁木町立仁木小学校校長
委 員	那須 昭行	仁木町地域福祉計画策定委員関係者 児童福祉部会副委員長	社会福祉法人櫻ヶ丘学園理事長
委 員	寒河江 京子	仁木町地域福祉計画策定委員関係者 児童福祉部会委員	仁木町社会教育委員
委 員	中西 勇	仁木町地域福祉計画策定委員関係者 児童福祉部会委員	仁木郵便局局长
委 員	芳岡 廣	仁木町地域福祉計画策定委員関係者 児童福祉部会委員	仁木町民生委員児童委員協議会 会長
委 員	西岡 千恵子	仁木町地域福祉計画策定委員関係者 児童福祉部会委員	仁木放課後児童クラブ事務局
委 員	菅 敦	仁木町民生委員児童委員関係者	主任児童委員
委 員	毛内 由紀子	仁木町民生委員児童委員関係者	主任児童委員
委 員	長内 理恵	保護者関係	仁木保育所父母会会長

3 . 仁木町次世代育成支援対策地域協議会会議

	日 程	議 題
第 1 回 協 議 会	平成16年 1月22日	委員長選出 次世代行動計画策定について
アンケート発送	平成16年 1月28日	対象者：0歳から小学校3年生までの児童261名
アンケート回収	平成16年 2月20日	142名（回収率84.5%）
第 2 回 協 議 会	平成16年 8月 3日	アンケート集計報告 現状と課題について
第 3 回 協 議 会	平成16年12月13日	調査結果を踏まえた今後の取組について
第 4 回 協 議 会	平成17年 2月24日	行動計画（案）について最終検討

4. 仁木町次世代育成支援に関するアンケート

次世代育成支援行動計画 アンケート調査

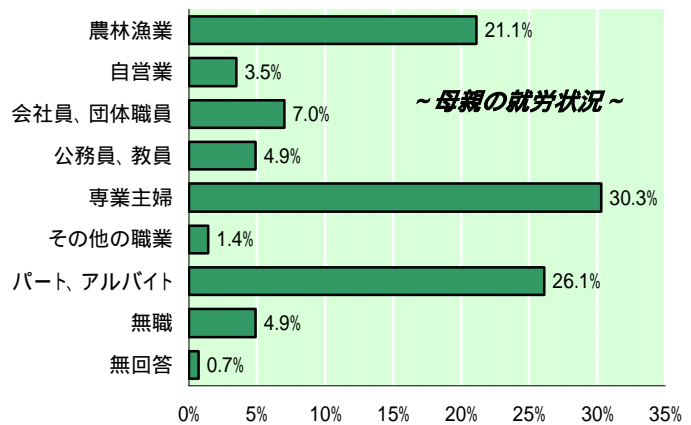
- (1) アンケート発送：平成16年1月28日
- (2) 調査の方法：郵送配布、郵送回収
- (3) 回収率：142通 84.5%

～集計結果～

問1～5 家庭の状況について

核家族の方が56%と半数を占め、ほとんどの家庭で母親(92.3%)が身の回りの世話をしています。

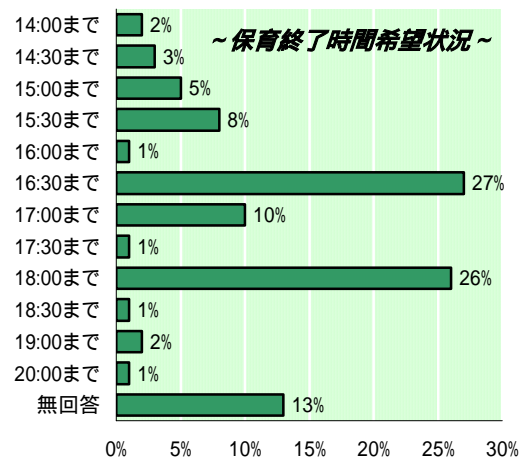
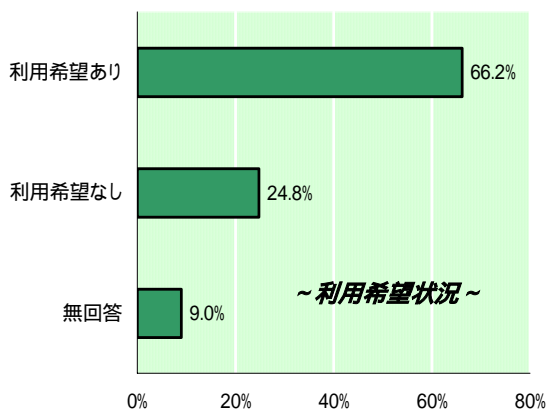
また、保護者の就労については、第1次産業の方は父母ともに21.1%であり、母親の30.3%の方が専業主婦です。



問6. 保育サービスの利用希望について

利用希望ありが66.2%で、月曜日から土曜日までの方が57.0%と半数を占めています。

保育時間は、午前8時から午後5時あるいは午後6時までを希望する方が同数となっています。



問7．保育サービスを利用する理由について

就労中と就労予定を合わせ69.1%、就労していないが預けたいという方が9.9%います。

問8．保育サービスを利用しない理由について

必要がない方、無記入の方合わせて50.0%、また、利用料が高いからという方が17.0%います。

問9．保育所に対して感じていること

施設・環境については満足度・不満足度は約同数ですが、人員体制、保育内容や保護者の要望や意見への対応についての不満は約30.0%あります。

病気やケガの対応、保護者への情報伝達などについては約80.0%近くの方が大変満足・やや満足となっています。

問10．放課後児童クラブの利用について

平日の利用希望の有無については、同数(42.0%)ですが、長期休暇利用希望の有無については希望なしの方が43.5%となっています。

利用希望時間については、休暇の時は午前8時から、終了時間は平日・休暇ともに午後6時まで希望する方がいます。

問11．放課後の過ごし方について

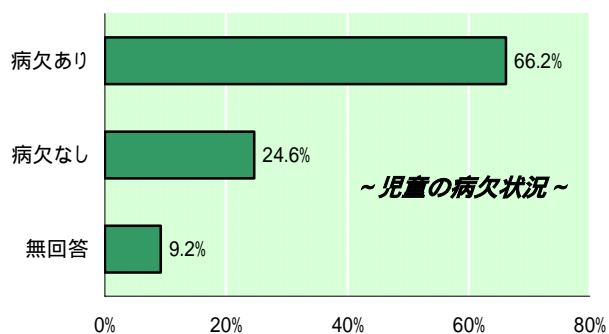
午後7時までは友達等と過ごしているようですが、中にはひとりで過ごす児童もいます。

問12．地域活動への参加状況について

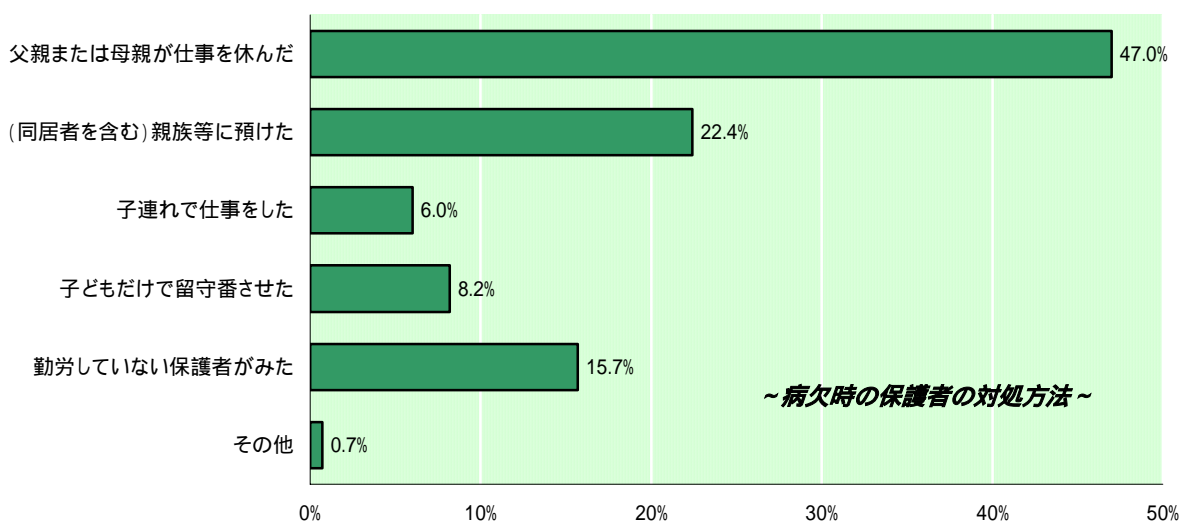
参加したことがある、今後参加させたい希望の方は、87.0%となり、社会福祉活動・社会貢献活動なども希望しています。

問13．子どもが病気の時について

保育所、学校などを休んだことがあるという児童は66.2%であり、子どもの対処方法として父母のどちらかが休んだ日数は9日/年が多く、非常に困難、どちらかというとなかなか困難をあわせると80.9%に及んでいます。



子連れで仕事をした方75.0%、子どもだけで留守番させた方が69.2%います。



問14．緊急時の子どもの面倒について

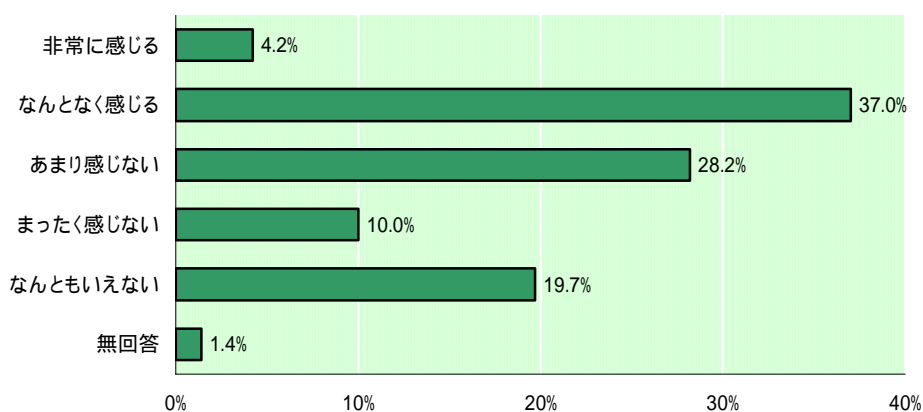
見られなくなったことがある方が40.1%、子どもだけで留守番をさせた方が33.3%います。

問15．泊まりがけで家族以外に預けたことについて

預けたことがある方は12.7%あり、対処方法として親類に預けた方が84.2%で80.9%の方が依頼の際に困難を感じています。

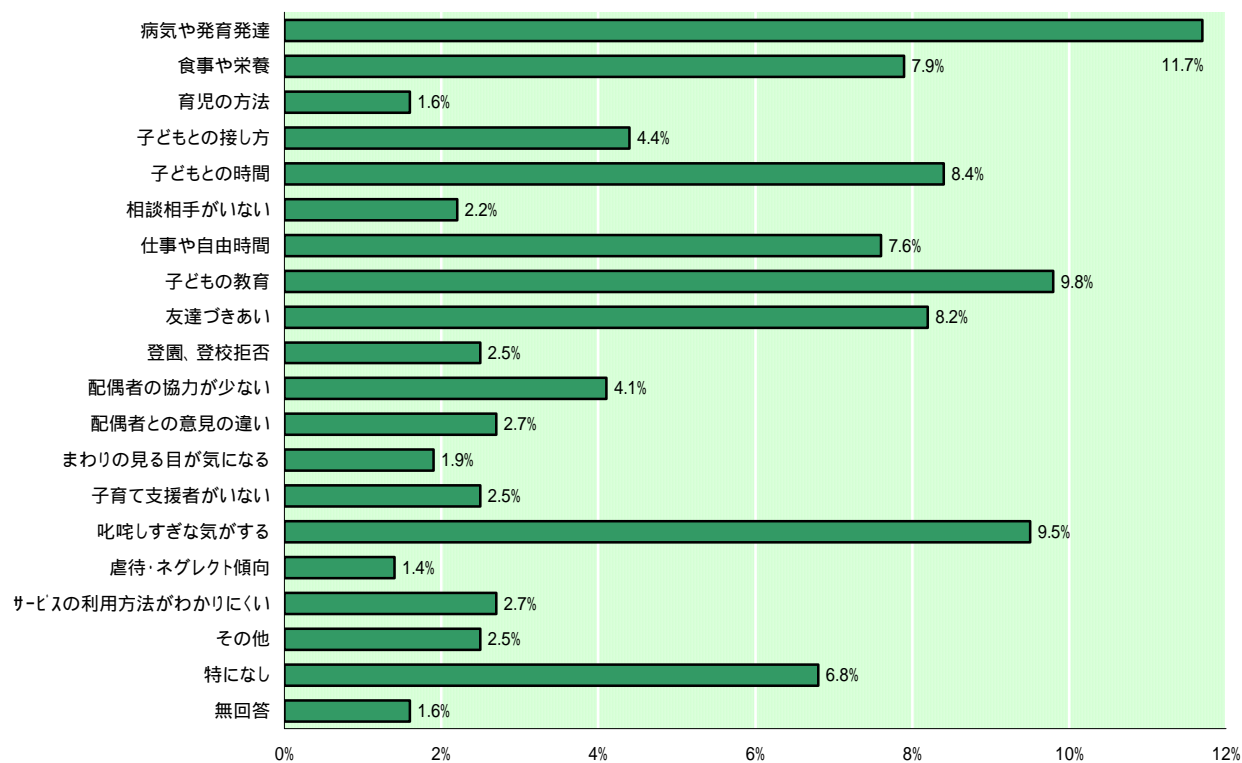
問16. 子育ての不安感や負担感について

「非常に感じる」、「なんとなく感じる」をあわせて41.2%の方がいます。



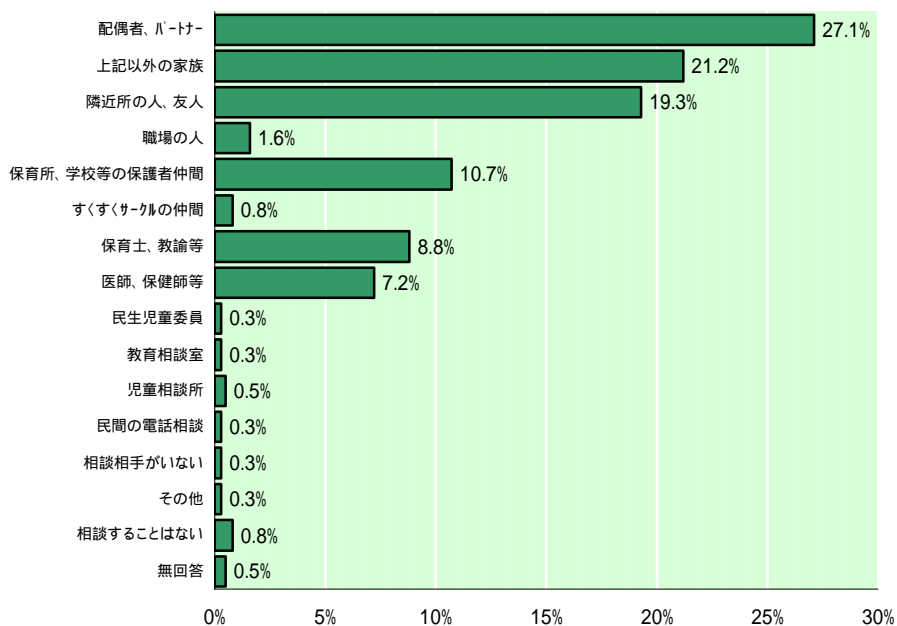
問17. 子育ての悩みについて

「病気や発達発育」、「教育」、「叱咤しすぎな気がする」という方が多くなっています。



問18．子育てに関する相談相手について

知人・友人が多く、次いで教育関係者となっています。



問19．子どもの食事の取り方について

家族と一緒に食事をする家庭は89.8%で、朝食を毎日食べる家庭は81.4%、食事時の挨拶も89.8%がしています。

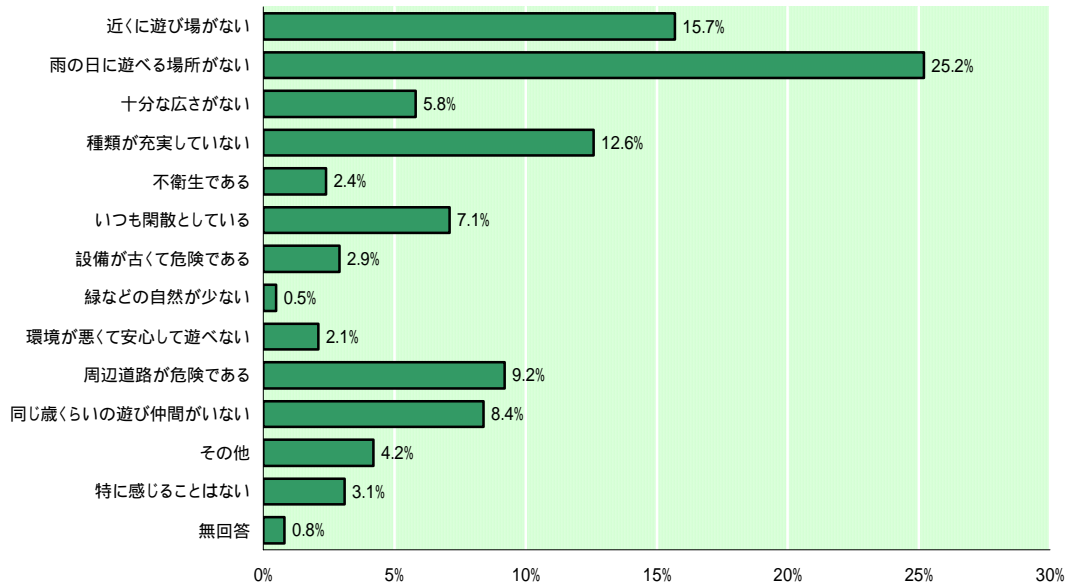
問20．子どもの起床・就寝時間について

3歳では遅くまで（午後11時台）起きている児童は23.0%ですが、3歳以上になる各年齢10%以下と少なくなっています。

起床時間については、就寝時間の遅い3歳では午前8時台の児童が31.0%もいますが、ほとんどが午前7時台となっています。

問21．子どもの遊び場について

雨の日に遊べる場所がないという意見が25.2%あります。

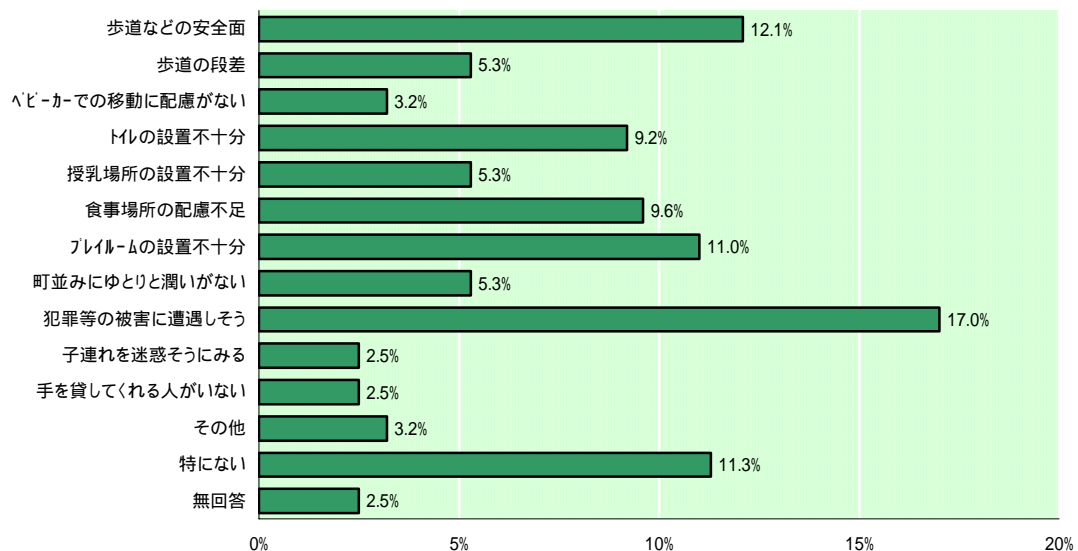


問22．保護者の自主的な活動への参加について

参加しないという方が49.3%で、現在参加している方(8.5%)と今後参加したい方(35.9%)よりも参加しないという方が5%多くなっています。

問23．子どもとの外出時に困ることについて

子どもが犯罪に遭遇しないか心配の意見が17.0%あります。

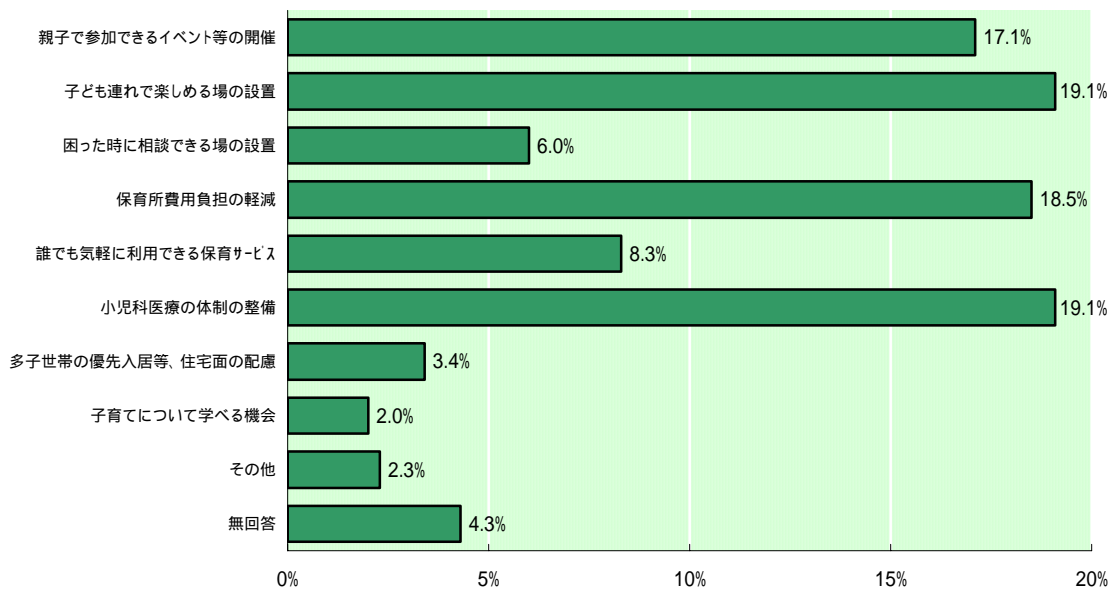


問 24 . 行政窓口・公的施設担当者の対応について

不満がある方が15.5%で、内容として「対応が不親切」40.7%、「情報がない」22.2%、「時間がかかる」11.0%となっています。

問 25 . 子育て支援に対する仁木町への期待について

- 1位 子連れでも楽しめる場所を増やしてほしい (19.1%)
- 2位 安心して医療機関にかかれる体制の整備 (19.1%)
- 3位 保育所等に係る経費の軽減 (18.5%)
- 4位 親子が安心して集まれる身近な場がほしい (17.1%)



問26．その他の意見について

保育関係

保育料が高いと思います。また、保育士の人数を増やしていただき、お便り帳に子どもの様子などを記載してほしいです。

0歳児保育、緊急保育（一時保育）、延長保育などがあると母親もフルタイムで働けるようになりますので、対応をお願いしたいです。

一寸した病気や急用の時などに預かってくれるところがあると助かります。

地域で子ども達を育てるために、祖父母、ボランティアなど多くの人たちと関われるようにしてほしいです。

子どもが少ない時代だからこそ「子どもがいると何かメリットがある」を実行したら子どもは増えるのではないのでしょうか。

小学校は土曜日が休みなので、放課後児童クラブを開所してほしいです。また、土曜日に誰でも参加できる行事があると良いと思います。

放課後児童クラブの長期休暇開所日に昼食を出してほしいです。

銀山地区にも放課後児童クラブがあったら、自分はボランティアで手助けしたいと考えています。

医療関係

仁木町にも小児科医院があると助かります。

子どもの医療費の公費負担が6歳までなので、せめて12歳まで支援していただきたいと希望します。

環境関係

男の子だけでなく、女の子の参加できるスポーツ少年団も結成してほしいです。

アリーナ、図書室、和室など多機能を備えた施設の周りに、グラウンド、遊具、アスレチックなどがあると、子どもからお年寄りまで自然に集うことができ、情報の交換などの場になると思います。

駅前の公園は狭くキャッチボールやサッカーなどが出来ないのが不便です。最近の仁木町の施設は大人や老人のことが中心で子どものための物は少ないように感じます。

駅前歩道のブロックは歩きづらく、ベビーカーも押しづらいため、平らな段差のないものにしてほしいです。

駅前公園に時計があると便利です。

旭台の橋の下に、公園、公衆トイレなどがあると良いと思います。

最近の仁木町の施設は大人や老人が中心のようなので、子どもの目線にあわせた遊び場が欲しいです。

街灯が少ないし、歩道の除雪も不十分であると思います。

フルーツパークは遊具などもあり、子どもの遊び場としてはいい場所ですが、雨天の時や冬期間利用できないのが残念です。

次々に施設をつくるのではなく町長は常に「子どもは町のたからもの」といわれているので温水プールの実現に期待しています。

温水プールがあると子どもたちだけでなく、お年寄りの腰やひざのリハビリになると思います。

就労関係

二人目の子どもを望んでおり、家計のため働きたいと考えていますが、子どもに負担や不安を感じさせないような仕事を斡旋していただければありがたいです。

母親にもフルタイムで働けるような就労の場がほしいです。

補助関係

子どもの少ない時代だからこそ、子どもを生み育てる事に対する経済的負担を少しでも軽くしてあげるため、お祝い金を出すとか、「子どもがいると何かメリットがある」ことを仁木町が実行すれば子供が増えるのではないのでしょうか。

スポーツ少年団に入団している子ども達に少年団割引券を希望します。例えば、スキースポーツ少年団の子にはリフトシーズン券の割引などがあると、日々頑張っている子どもたちの励みになると思います。

子どもが生まれたら広報に載せるだけでなく、お祝い金を出すとかもっとお祝いをして欲しいです。

交通関係

町内巡回バスがあると、行事などへの参加もしやすくなりますし、またバスの便も不便なための小児科などへの通院も安心です

交流関係

子どもの人数が減り、子ども会活動ができなくなっていますが、「三世代交流ふれあい教室」はとてもよかったです。イベントが増えると家に閉じこもってゲームをする子どもも減るのではないのでしょうか。

相談関係

体調相談窓口があると、子育ての悩みや子どもが病気の時「何を把握して(熱や体重)どこの病院の何科に行く」「今、流行している病気は何か」について、病院などよりも相談しやすく、友人や知人に知識がある人がいない母親にとっては安心できると思います。

情報関係

どんなに良い支援対策があっても、周知されなければ意味がないと思います。

ホームページやメールマガジンなどがあると情報が得やすいと思います。